

一部で需要回復の動き見られるも、物価高騰により収益確保に苦慮

人材不足の深刻化に加え、継続して消費マインドは低下

～景況 DI 値は、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス5.2～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 9月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比68.3ポイント上昇のプラス5.2、前年同月比36.9ポイント上昇のマイナス15.8。非製造業では、前月比52.6ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比31.6ポイント上昇のプラス36.9。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス15.8、前年同月比5.2ポイント低下のプラスマイナス0。非製造業では、DI 値前月比36.9ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比10.6ポイント低下のプラス47.3。

収益状況 製造業では、DI 値前月比15.8ポイント上昇のマイナス31.5、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス47.3。非製造業では、前月比42.0ポイント低下のマイナス21.0、前年同月比21.0ポイント上昇のプラス21.0。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス31.5。非製造業では、前月比21.0ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比26.3ポイント上昇のプラス5.3。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比10.6ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス10.5。非製造業では、前月比21.0ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス10.5。

景況 製造業では、DI 値前月比21.0ポイント上昇のマイナス31.6、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス26.3。非製造業では、前月比26.4ポイント低下のマイナス5.3、前年同月比同水準のプラス15.8。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比2.6ポイント低下のマイナス18.4、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス5.2となった。製造業では、一部の業種で需要回復の動きが見られ、売上高は前月比、前年同月比ともに増加したものの、原材料価格、エネルギーコストの高止まりの影響により収益の改善には至らず、厳しい状況が続いている。非製造業では、観光業を中心に夏休みシーズン終了の反動により落ち着いた月となったものの、新型コロナの影響も小さくなったことで売上高、収益状況はともに前年同月比で好転した。県内景況は、原材料調達等サプライチェーンは回復傾向にあるものの、引き続き業種を問わず電気代や副資材等諸経費の値上げによる経費負担の増加が続いており、収益に苦慮している。また、人手不足の深刻化などに加え、物価高騰の影響による消費マインドの低下が継続するなど、業種を問わず課題が山積しており業況は引き続き厳しい。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

9月の全国倒産は、件数679件で、（前年同月583件、16.5%増）と、17カ月連続で前年同月を上回り、9月としてはコロナ禍前の2019年（687件）以来の水準となった。2023年1－9月の累計件数は6128件となり、倒産抑制期であった2021年通年（6015件）を既に上回った。

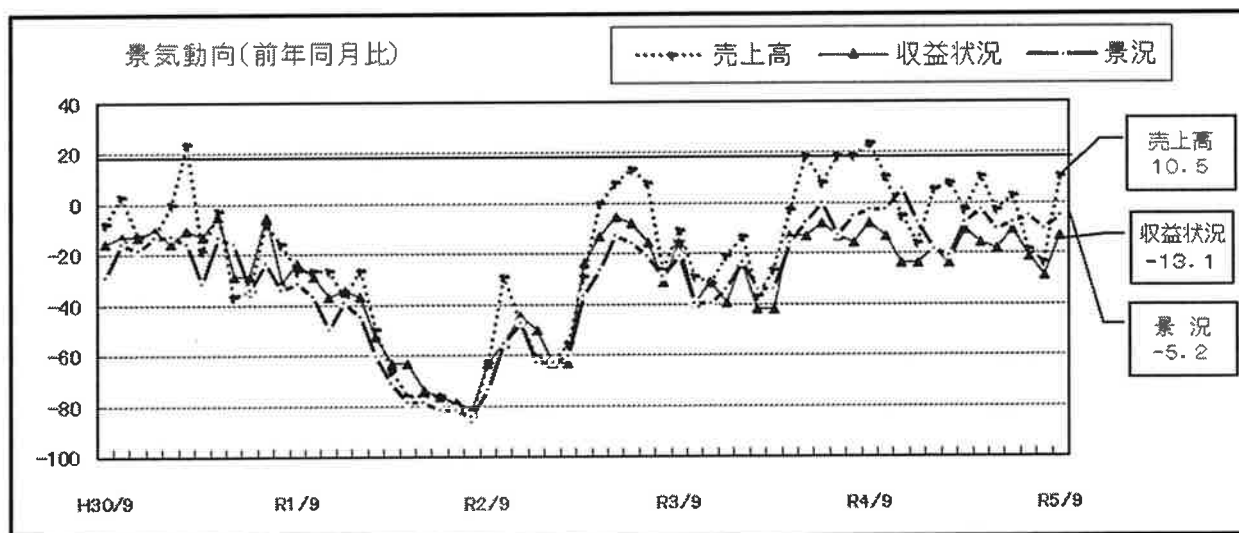
一方、9月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数3件（前月4件）、負債総額は12億9,200万円（前月4億2,600万円）であった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報8月分」）

鳥取県の8月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.38倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.29倍）で、前月より0.03ポイント上昇。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.19倍、米子所1.57倍、倉吉所1.47倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.49倍（季節調整値）で、前月より0.25ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比6.9%減少し、有効求人数も9.1%減少となった。産業別に前年同月と比較すると、公務・その他（16.9%）、医療・福祉（5.3%）、宿泊業・飲食サービス（3.9%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比2.1%増加、有効求職者数は前年同月比1.2%増加となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.28倍で、前年同月を0.12ポイント下回った。新規求人数は前年同月に比べ0.7%減少した。



9月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売 上 高	26.3%	21.1%	5.2 68.3	15.8%	42.1%	-26.3 -52.6	21.1%	31.6%	-10.5 7.9
(2)在庫数量	0.0%	21.1%	-21.1 -10.5	16.7%	8.3%	8.4 16.7	6.5%	16.1%	-9.6 0.0
(3)販売価格	5.3%	21.1%	-15.8 0.0	10.5%	15.8%	-5.3 -36.9	7.9%	18.4%	-10.5 -18.4
(4)取引条件	5.3%	10.5%	-5.2 -5.2	0.0%	0.0%	0.0 5.3	2.6%	5.3%	-2.7 0.0
(5)収益状況	5.3%	36.8%	-31.5 15.8	5.3%	26.3%	-21.0 -42.0	5.3%	31.6%	-26.3 -13.2
(6)資金繰り	0.0%	15.8%	-15.8 5.3	0.0%	26.3%	-26.3 -21.0	0.0%	21.1%	-21.1 -8.0
(7)設備操業度	5.3%	15.8%	-10.5 26.3						
(8)雇用人員	0.0%	10.5%	-10.5 10.6	0.0%	10.5%	-10.5 -21.0	0.0%	10.5%	-10.5 -5.3
(9)景 況	0.0%	31.6%	-31.6 21.0	15.8%	21.1%	-5.3 -26.4	7.9%	26.3%	-18.4 -2.6

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売 上 高	26.3%	42.1%	-15.8 36.9	47.4%	10.5%	36.9 31.6	36.8%	26.3%	10.5 34.1
(2)在庫数量	0.0%	21.1%	-21.1 -0.1	8.3%	0.0%	8.3 16.6	3.2%	12.9%	-9.7 6.5
(3)販売価格	21.1%	21.1%	0.0 -5.2	52.6%	5.3%	47.3 -10.6	36.8%	13.2%	23.6 -8.0
(4)取引条件	0.0%	15.8%	-15.8 0.0	5.3%	15.8%	-10.5 5.3	2.6%	15.8%	-13.2 2.6
(5)収益状況	5.3%	52.6%	-47.3 10.6	36.8%	15.8%	21.0 21.0	21.1%	34.2%	-13.1 15.9
(6)資金繰り	5.3%	36.8%	-31.5 -5.2	15.8%	10.5%	5.3 26.3	10.5%	23.7%	-13.2 10.4
(7)設備操業度	5.3%	36.8%	-31.5 21.1						
(8)雇用人員	5.3%	15.8%	-10.5 10.6	5.3%	15.8%	-10.5 -5.2	5.3%	15.8%	-10.5 2.6
(9)景 況	15.8%	42.1%	-26.3 10.5	31.6%	15.8%	15.8 0.0	23.7%	28.9%	-5.2 5.3

*D I とは、デフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料（小麦粉、砂糖、油脂等）や、包装資材等副資材価格の高止まりにより、厳しい業況が続いている。最低賃金の改定も決定し、中小企業者は人手不足に拍車がかかり、死活問題となっている。

醬 油⇒ 製品の値上げが出荷量の減少要因となっていたが、回復基調の兆しが見られる。前年同月比で販売価格は上昇し売上も増加したが、収益状況は厳しい。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 秋物は例年に比べ追加増産の発注が極端に少なくなった。人件費上昇や物価高騰の影響への対応として加工単価について価格転嫁を図りたいが、発注元の理解は得られにくい状況が続いている。

ニット製品⇒ 秋冬物の動きは小売段階で鈍く、追加の発注は弱含みで推移している。円安による輸入価格、仕入価格の上昇を受けて最終小売価格の値上げをできる衣類小売環境にないため、製造に係る価格転嫁も困難であり、業況は厳しい状況が続いている。

【家具装備品】

⇒ 売上高は前月比、前年同月比ともに減少となった。物価高による販売価格の高止まりが続いており、仕入価格等経費の上昇が収益状況を悪化させるなど、先行きは引き続き厳しい。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量は前月比でともに減少、合板の生産量も前月比で減少となった。丸太の出材は減少しており、価格は強含みで推移している。建築需要も低迷しており、製材品の引き合いは引き続き低調で推移した。プレカット加工の稼働率は、前月比20%減少、前年同月比30%減少となった。

【紙・加工品】

和 紙 ⇒ 原材料高等諸経費の高止まりが続いている。売上高は前月比、前年同月比ともに横ばいで推移、景況は厳しい状況が続いている。

【印 刷】

⇒ パンフレットや来場者記念品、ご朱印帳、お土産品などの印刷依頼が増加している。観光業、飲食業の印刷需要が戻りつつある。前年同月比で売上は増加、業況は改善の兆しが見られる。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 9月の生コン出荷量は、前月比で約6%減少、前年同月比で約19%減少となった。東部地区を中心に引き合いが弱く、前年割れが続いている。セメント価格、骨材価格、輸送燃料の値上げから生コン価格の値上げがなされたが、一部民間工事計画の見直しや延期が見られる。若手人材の確保が課題となっている。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内でも民間物件の動きが出ているが、仕事量は少なく、価格面での折り合いがつかず厳しい。全国的な建築需要の停滞により、地方の中小企業の景況は厳しくなっている。機械加工は、受注を確保できているものの、全体的に弱含みとなっている。工作機械・産業機械関係は受注が減少傾向となっており、自動車関係も年内の受注は厳しい状況となっている。また、県外業者の参入により低価格競争となっており、物価高騰に対する価格転嫁は困難な状況。受注単価も低下傾向となっており、採算はますます厳しくなっている。

鉄骨加工⇒ 県外発注の工事に徐々に動きが見られ、東部・中部では公共工事の受注を確保できている。鋼材価格の高止まりが続いており、電気代等の価格転嫁も十分にはできておらず、厳しい業況が続くことが予想される。

金属熱処理⇒ 9月の受注状況は前月比、前年同月比で若干増加したが、業界の受注状況は未だに低迷状態である。全般にエネルギーや原材料の高騰に対する価格改定は多くの顧客に理解を得られているが、大企業相手の価格改定については困難な状況が続いている。ほとんどの金属加工業で景気回復の兆しは見えていない。

【電気機械器具】

⇒ 原材料調達に係るサプライチェーンは改善され、スムーズに納入されてきている。原材料価格高騰が続いており、利益確保に苦慮している。受注が大幅に減少しており、先行きは依然不透明なままである。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、取扱数量は前月比で増加、前年同月比で減少した。売上高は単価の上昇により前月比、前年同月比ともに増加した。鮮魚関係では、取扱数量は前月比、前年同月比ともに増加した。売上高は、前月比で減少、前年同月比で増加した。地元資本のスーパーが閉店したことにより、今後の取引への影響が懸念される。インボイス制度の施行が迫り、対応に苦慮している。また、人員の確保が困難な状況が続いている。

中部地区⇒ 原材料の高騰で建築工事の価格が大幅に上がっており、竣工後の物品購入需要の減退や購入単価の下落につながっており、売上、収益ともに厳しい状況が続いている。

西部地区⇒ 新型コロナの5類移行を契機とした対面営業や展示会等が再開されつつある。一方6月からの食料品、消耗品等の値上げに加え、電気料金のさらなる値上げによる売上原価への影響が懸念される。また、仕入配送に係るコスト増や、配送の減便の影響が散見される。

水産物⇒ 巻き網は小羽イワシの豊漁が続き、他地域の同種の水揚げが減少していることから養殖魚の餌料として高値で推移した。解禁となった底引き漁はハタハタ、カレイ類等の中心となる魚種はまとまらなかったものの、他の魚種は豊富であり全体としては活気づいた。スルメイカ類の水揚げも近年では多

く、1,000ケースを超える日が続いた。紅ズワイガニ漁も好天にめぐまれ昨年を大きく上回る水揚げとなり、浜値も比較的安価で推移した。

リサイクル原料⇒ 価格動向については、前月比、前年同月比で横ばいとなった。売上高についても前月比、前年同月比ともに横ばいで推移、業況に大きな動きは見られなかった。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取の商店街では、9月は新型コロナの影響も落ち着きをみせ、人流は増加傾向にある。光熱費やガソリン価格など物価高騰のネガティブな要因が多く、消費マインドは大きく低下している。引き続き飲食、宿泊関係は戻りつつあるが、物販は依然厳しさが続いている。仕入価格の高騰が長期化しているが、販売価格に反映しきれない状況が続いている。インボイス制度への対応に向けてレジや証票書類の様式変更に対応しきれない店舗も散見される。

中 部 地 区⇒ 倉吉の商店街では、9月は大きな行事はなく、業況についても横ばいで推移し、売上高についても前月比、前年同月比ともに横ばいで推移した。10月は打吹回廊・倉吉銀座通りにて「福高祭2023～アートで福高～」の開催を予定している。

西 部 地 区⇒ 米子の商店街では、9月は米子市の実証実験として駅前周辺の広場、公園で「まちなかテラス」を開催。広場では米子南高校生による「ボッチャ大会」が行われた。

境港市の水産物小売では、売上高は前月、前年同月ともに横ばいとなったが、施設内の飲食店については売上が増加傾向にある。9月からベニズワイガニの漁期が始まったこともあり、観光客の増加に期待が持たれる。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、9月の観光客の入込数は減少傾向で推移し、16日からの連休は入込数が増加した。観光バスツアーは好調であったが、自家用車での観光客の入込数は減少傾向で推移した。売上高は前月比で減少、前年同月比で微増となった。

米子市のホテル・旅館では、前月が夏休みで上半期でもピークであったため、前月比では宿泊客数は減少し、売上高を中心に軒並み減少、悪化となった。前年同月比では、新型コロナの影響も落ち着きを見せ、売上高は増加、収益状況、業界景況ともに好転してきている。

三朝温泉では、9月は台風7号の影響による復旧工事等により休館等が散見されたが、連休もあり多くの観光客で賑わった。売上高は前月比で横ばい、前年同月比で増加となった。

羽合温泉では、9月の宿泊客は前年同月比で増加したものの、コロナ禍以前と比較すると約8割程度に留まった。売上高は前月比で減少、前年同月比で増加となった。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車、軽自動車を合わせて2,368台で前月比が約18%増加、前年同月比は約4%の増加となった。中古車は677台で前月比

約12%増加、前年同月比は約34%増加した。継続検査（軽自動車を含む）は15,516台となり前月比で4%増加、前年同月比は約8%増加した。普通車、軽自動車ともに新車の供給は改善傾向にあるため、継続検査増加に期待が持たれる。

【建設業】

⇒ 8月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額81億円（前年同月比3.7%増加）、件数186件（前年同月比4.5%増加）となった。年度累計（令和5年4月～令和5年8月）は、請負金額437億円（前年同月比11.5%増加）、件数816件（前年同月比3.2%増加）となった。住宅投資は、単月、3ヵ月平均ともに前年比が大幅にマイナスとなった。設備投資は単月で下振れるも、3ヵ月平均では前年同月比プラスが続く。公共投資は単月、年度累計ともに前年同月比プラスとなり、全体の基調として持ち直しつつあるものの、建設資材やエネルギーの高止まりにより価格転嫁が追い付かず採算は悪化している。技術者の高齢化や深刻な人手不足が続き、業況は厳しい。

8月の鳥取県新設住宅着工戸数は166戸（持家147戸、貸家19戸）で、前月比14%減少、前年同月比44%減少となった。

【運輸業】

東 部 地 区⇒ 9月の物流は、製造業の出荷量は概ね横ばいで推移したほか、青果物（梨）の出荷輸送があったものの全体としては低調な動きとなった。また、復路荷物の発注情報量は増加しているが、荷物の不足傾向は続いており、効率の悪い運行が見られた。売上高は前月比、前年同月比で横ばいとなった。引き続き燃料価格の高値が続いており、収益率、資金繰りが悪化するなど業況は厳しい状況が続いている。

西 部 地 区⇒ 燃料価格については補助金効果があったため一時のピークから脱したものの、依然として高値で推移している。梨配送は好天にも恵まれ例年以上の配送実績となる見込みとなった。業界では高齢に伴うドライバーの退職者が散見され始めており、人員不足が懸念される。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業に対し、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・過去に例を見ないほど新規工事が少なく、立ち行かない工場が出てくる恐れもあるため早急に対応を求める。【生コンクリート製造業】
- ・収益が上がっている大企業同様に、中小企業も価格転嫁が可能となるような施策を望む。【金属熱処理業】
- ・エネルギー価格をはじめ、コストの高騰に対する支援を望む。また、飲食に限らず業種に偏りのない需要喚起策を望む。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との増減幅
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
売 上 高	製 造 業	21.0	-10.5	-15.8	-10.5	-31.5	-10.5	0.0	-10.5	-15.8	0.0	0.0	-63.1	5.2	-15.8
	非製造業	-5.3	15.7	26.3	-10.5	-36.9	31.6	57.9	-57.9	5.2	-15.8	-21.1	26.3	-26.3	-21.0
	全 業 種	7.9	2.6	5.3	-10.5	-34.2	10.5	28.9	-34.2	-5.3	-7.9	-10.5	-18.4	-10.5	-18.4
在庫数量	製 造 業	5.2	-5.2	0.0	-10.5	5.2	0.0	0.0	5.3	10.5	10.5	-5.2	-10.6	-21.1	-26.3
	非製造業	-8.4	8.4	8.4	8.3	8.4	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	-8.3	8.4	16.8
	全 業 種	0.0	0.0	-3.2	-3.2	6.4	3.2	6.7	3.2	6.5	6.4	0.0	-9.6	-9.6	-9.6
販売価格	製 造 業	21.1	21.1	26.3	26.3	21.0	21.1	0.0	5.3	0.0	-5.3	-10.6	-15.8	-15.8	-36.9
	非製造業	5.3	31.5	42.1	26.3	10.6	15.8	15.8	-10.6	10.6	5.3	21.1	31.6	-5.3	-10.6
	全 業 種	13.2	26.3	34.2	26.3	15.8	18.4	7.9	-2.6	5.3	0.0	5.3	7.9	-10.5	-23.7
取引条件	製 造 業	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0	0.0	-5.2	0.0	-5.2	0.1
	非製造業	-5.2	0.0	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.3	-5.3	0.0	5.2
	全 業 種	-5.3	-7.9	-7.9	-5.3	-5.3	-7.9	0.0	-2.6	0.0	0.0	-5.3	-2.7	-2.7	2.6
収益状況	製 造 業	-15.8	-26.3	-36.8	-26.3	-31.6	-31.6	-5.2	-26.3	-15.8	-31.5	-21.1	-47.3	-31.5	-15.7
	非製造業	-15.8	10.5	15.8	-5.3	-31.5	0.0	21.1	-42.1	-10.5	-15.8	-47.4	21.0	-21.0	-5.2
	全 業 種	-15.7	-7.9	-10.5	-15.8	-31.6	-15.8	7.9	-34.2	-13.2	-23.7	-34.2	-13.1	-26.3	-10.6
資金繰り	製 造 業	-10.5	-5.3	-10.5	-5.3	-5.2	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-15.8	-21.1	-15.8	-5.3
	非製造業	-21.1	10.5	15.8	-15.8	-15.8	0.0	10.5	-26.3	0.0	-15.8	-26.3	-5.3	-26.3	-5.2
	全 業 種	-15.8	2.6	2.6	-10.5	-10.6	-10.5	0.0	-21.1	-5.2	-15.8	-21.1	-13.1	-21.1	-5.3
設備操業度	製 造 業	0.0	-10.6	10.5	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-5.2	-36.8	-10.5	-10.5
雇用人員	製 造 業	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0	0.0	-21.1	-10.5	-10.5
	非製造業	-5.3	5.3	0.0	-5.3	-15.8	-5.3	0.0	5.3	10.5	-10.5	5.3	10.5	-10.5	-5.2
	全 業 種	-2.6	-2.6	0.0	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	2.7	2.7	-5.3	2.6	-5.2	-10.5	-7.9
景 況	製 造 業	-26.3	-36.8	-31.5	-26.3	-36.8	-42.1	-26.3	-31.6	-36.8	-36.8	-21.0	-52.6	-31.6	-5.3
	非製造業	-26.3	0.0	15.8	0.0	-31.5	5.3	21.1	-15.8	15.8	10.6	-21.1	21.1	-5.3	21.0
	全 業 種	-26.3	-18.4	-7.9	-13.2	-34.2	-18.4	-2.6	-23.6	-10.6	-13.2	-21.1	-15.8	-18.4	7.9

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との増減幅
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
売 上 高	製 造 業	0.0	-5.3	-10.5	-36.8	-26.3	-15.8	-36.8	-31.6	-31.6	-36.8	-42.1	-52.7	-15.8	-15.8
	非製造業	47.4	26.4	0.0	5.3	36.9	31.6	31.6	52.6	26.3	42.1	5.3	5.3	36.9	-10.5
	全 業 種	23.6	10.5	-5.3	-15.8	5.3	7.9	-2.7	10.5	-2.6	2.6	-18.4	-23.6	10.5	-13.1
在庫数量	製 造 業	21.1	15.8	10.5	5.3	10.5	0.0	-10.5	5.3	-5.3	-10.5	-21.0	-21.0	-21.1	-42.2
	非製造業	-16.7	0.0	-16.7	8.3	16.7	16.7	16.7	8.4	8.4	8.4	8.4	-8.3	8.3	25.0
	全 業 種	6.4	9.6	0.0	6.5	12.9	6.5	0.0	6.5	0.0	-3.2	-9.7	-16.2	-9.7	-16.1
販売価格	製 造 業	47.4	47.4	57.9	47.4	31.5	36.8	21.0	26.3	26.3	10.5	15.7	5.2	0.0	-47.4
	非製造業	36.9	36.8	10.5	42.1	52.6	21.1	26.3	36.8	36.9	47.3	52.6	57.9	47.3	10.4
	全 業 種	42.1	42.1	34.2	44.7	42.1	28.9	23.6	31.6	31.5	28.9	34.2	31.6	23.6	-18.5
取引条件	製 造 業	-5.2	-15.8	0.0	0.0	-5.2	-5.3	-5.2	-10.5	-5.2	-21.0	-15.8	-15.8	-15.8	-10.6
	非製造業	-5.3	5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-15.8	-21.1	-15.8	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-5.2
	全 業 種	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-13.8	-13.2	-10.5	-21.1	-13.2	-15.8	-13.2	-7.9
収益状況	製 造 業	-36.9	-47.3	-42.1	-42.1	-57.9	-63.2	-52.6	-52.6	-47.3	-47.3	-42.1	-57.9	-47.3	-10.4
	非製造業	21.0	21.0	-5.3	-5.3	21.1	15.8	31.6	21.0	10.5	26.3	0.0	0.0	21.0	0.0
	全 業 種	-7.9	-13.1	-23.7	-23.7	-18.4	-23.7	-10.5	-15.7	-18.4	-10.5	-21.0	-29.0	-13.1	-5.2
資金繰り	製 造 業	-5.3	-26.3	-10.5	-10.5	-15.8	-31.6	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	-26.2
	非製造業	10.6	15.8	5.3	-5.3	5.3	5.3	5.3	0.0	-10.6	0.0	-10.5	-21.0	5.3	-5.3
	全 業 種	2.6	-5.2	-2.7	-7.9	-5.3	-13.2	-13.2	21.0	-26.3	-15.8	-23.7	-23.6	-13.2	-15.8
設備操業度	製 造 業	-10.6	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	21.1	-15.8	-21.1	-21.0	-31.6	-31.6	-52.6	-31.5	-20.9
雇用人員	製 造 業	-5.2	-10.5	0.0	5.3	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-21.1	-10.5	-5.3
	非製造業	-5.3	0.0	-5.2	-15.8	-10.6	10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-5.2
	全 業 種	-5.3	-5.2	-2.6	-5.3	-10.5	0.0	-10.5	-7.9	-13.1	-10.5	-10.5	-13.1	-10.5	-5.2
景 況	製 造 業	-15.8	-21.0	-10.5	-21.1	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-42.1	-42.1	-36.8	-36.8	-26.3	-10.5
	非製造業	10.5	15.8	21.1	5.3	-5.2	0.0	26.3	26.3	21.1	26.3	26.3	15.8	15.8	5.3
	全 業 種	-2.6	-27.0	5.3	-7.9	-18.4	-21.1	-7.9	-2.6	-10.5	-7.8	-5.3	-10.5	-5.2	-2.6

情報連絡員報告総括表(令和5年9月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	2	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0
繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0
木材・木製品	1	1	2	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0	1	3	0	2	2	0	3	1	0	4	0	0	0	1
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0
化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
鉄鋼・金属	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1
一般機器	1	2	0	0	3	0	0	2	1	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0
電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
輸送用機器																											
その他																											
19	5	10	4	0	15	4	1	14	4	1	16	2	1	11	7	0	16	3	1	15	3	0	17	2	0	13	6
100%	26.3%	52.6%	21.1%	0.0%	78.9%	21.1%	5.3%	73.7%	21.1%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	57.9%	36.8%	0.0%	84.2%	15.8%	5.3%	78.9%	15.8%	0.0%	89.5%	10.5%	0.0%	68.4%	31.6%
卸売業	2	3	1	1	5	0	1	4	1	0	6	0	0	6	0	0	6	0				0	5	1	1	5	0
小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
商店街	0	2	2	1	2	1	1	3	0	0	4	0	0	3	1	0	3	1				0	4	0	0	2	2
サービス業	1	1	3				0	4	1	0	5	0	1	1	3	0	2	3				0	4	1	2	1	2
建設業	0	0	1				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
運輸業	0	1	1				0	1	1	1	0	2	0	0	1	0	1	1				0	2	0	0	2	0
その他																											
19	3	8	8	2	8	1	2	14	3	0	19	0	1	13	5	0	14	5				0	17	2	3	12	4
100%	15.8%	42.1%	42.1%	16.7%	66.7%	8.3%	10.5%	73.7%	15.8%	0.0%	100.0%	0.0%	5.3%	68.4%	26.3%	0.0%	73.7%	26.3%				0.0%	89.5%	10.5%	15.8%	63.2%	21.1%
38	8	18	12	2	23	5	3	28	7	1	35	2	2	24	12	0	30	8	1	15	3	0	34	4	3	25	10
100%	21.1%	47.4%	31.6%	6.5%	74.2%	16.1%	7.9%	73.7%	18.4%	2.6%	92.1%	5.3%	5.3%	63.2%	31.6%	0.0%	78.9%	21.1%	5.3%	78.9%	15.8%	0.0%	89.5%	10.5%	7.9%	65.8%	26.3%

情報連絡員報告総括表(令和5年9月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	1	0	1	0	0	2	1	1	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	1	1	0
繊維工業	1	2	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	1	1	1	0	2	1	0	2	1	1	1	1	1	1	1
木材・木製品	0	0	4	0	3	1	0	2	2	0	3	1	0	1	3	0	1	3	0	2	2	0	4	0	0	0	4
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0
化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1
鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	1
一般機器	2	1	0	0	3	0	1	2	0	0	2	1	0	2	1	1	2	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0
電気機器	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
輸送用機器																											
その他																											
19	5	6	8	0	15	4	4	11	4	0	16	3	1	8	10	1	11	7	1	11	7	1	15	3	3	8	8
100%	26.3%	31.6%	42.1%	0.0%	78.9%	21.1%	21.1%	57.9%	21.1%	0.0%	84.2%	15.8%	5.3%	42.1%	52.6%	5.3%	57.9%	36.8%	5.3%	57.9%	36.8%	5.3%	78.9%	15.8%	15.8%	42.1%	42.1%
卸売業	2	3	1	0	6	0	2	3	1	0	5	1	1	4	1	0	6	0				0	4	2	1	4	1
小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
商店街	2	2	0	1	3	0	2	2	0	0	3	1	1	3	0	0	4	0				0	4	0	0	3	1
サービス業	5	0	0				4	1	0	1	3	1	5	0	0	3	2	0				1	4	0	5	0	0
建設業	0	1	0				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	0	1
運輸業	0	1	1				1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1				0	1	1	0	2	0
その他																											
19	9	8	2	1	10	0	10	8	1	1	15	3	7	9	3	3	14	2				1	15	3	6	10	3
100%	47.4%	42.1%	10.5%	8.3%	83.3%	0.0%	52.6%	42.1%	5.3%	5.3%	78.9%	15.8%	36.8%	47.4%	15.8%	15.8%	73.7%	10.5%				5.3%	78.9%	15.8%	31.6%	52.6%	15.8%
38	14	14	10	1	25	4	14	19	5	1	31	6	8	17	13	4	25	9	1	11	7	2	30	6	9	18	11
100%	36.8%	36.8%	26.3%	3.2%	80.6%	12.9%	36.8%	50.0%	13.2%	2.6%	81.6%	15.9%	21.1%	44.7%	34.2%	10.5%	65.8%	23.7%	5.3%	57.9%	36.8%	5.3%	78.9%	15.8%	23.7%	47.4%	28.9%